

株式会社 藍 産地レポート

こんな時期はずれに桃太郎ぶどう生産者を訪ねました。Vol. 2

～岡山県瀬戸地区

前回、お送りした「産地レポート」は大雪の後、雪も融けきらぬ真冬。あれからはや、2ヶ月。まさに、桜の季節となり、春本番といった季節になりました。

前回訪問時はそろそろ加温を始めようかと言われていましたが冬は過ぎ、春を迎えた3月下旬。いとしのぶどう君達はどうなっているのか。楽しみにしながら、万代農園に向かいました。



この辺り
瀬戸地区



1月中旬の様子

→
2ヵ月後



葉が元気に伸び、枝にもしっかりと活力があり、非常に順調にきているというのが第一印象。また、アルギット農法の影響なのか、園全体が、瑞々しく感じられた。



この部分だけ！！

今年の生育状況について

今年の生育状況は、昨年の猛暑の影響で、房が若干小さめになるのではないかとのことです。また、今年の冬が比較的気温が低く、冬らしい冬になったため、ぶどうにとって良かったとのことです(休眠打破がしやすかった)。原油高の影響もあり、加温を控える生産者も多いと聞きますが、万代農園では例年通り加温をし、出荷開始時期については、例年通りを予定しているとのこと。相対的にみて今年の作柄状況は「房は若干小さい傾向ながら、味わいは例年程度」とのこと。まずは一安心。

余談ですが、桃太郎ぶどうと剪定について・・・
房作りにおいて、予め肥大させる粒を決めておきます。左の房で言うと、丸で囲んだ部分以外は、見た目美しく、そして食べて美味しくするという観点から全て間引いてしまいます。

相変わらず、万代農園は理路整然と管理され、また園内は瑞々しさに溢れ、気が早いようですが、収穫が非常に楽しみです。

次回レポートは花が咲いたころを予定しております。あまり期待せずにお待ち下さい・・・。